

学校だより

NO. 1

〒098-2501
 北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地1
 電話 01656-5-3044 FAX 01656-5-3838
 e-mail otokoh@seagreen.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www.otoineppu-h.ed.jp/

『夢を語り感動があふれる 学校づくり』を目指して

校長 菊地 裕幸



北海道おといねっぴ美術工芸高等学校を御支援いただいております皆様方には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
 また、日頃から本校の教育活動について多大なる御理解と御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、この度の人事異動で、北海道苫小牧工業高等学校から着任いたしました菊地裕幸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、十勝管内音更町の出身で、平成2年3月に北海道帯広三条高等学校を卒業し、1年の大学浪人を経て室蘭工業大学工学部材料物性工学科へ進学し、平成7年3月に卒業しました。その後、教職に就き、北海道中標津高等学校(1年)、北海道富良野工業高等学校(3年)、北海道北見工業高等学校(7年)、北海道室蘭工業高等学校(定時制課程4年、全日制課程7年)で勤務、平成29年4月に教頭昇任し、北海道札幌琴似工業高等学校(2年)、北海道室蘭工業高等学校(3年)、北海道苫小牧工業高等学校(1年)で勤務し、この度、歴史と伝統ある北海道おといねっぴ美術工芸高等学校に御縁をいただきましたこと、たいへん嬉しく思います。

本校は、4月11日に入学式を挙行し、新たに40名の新生を道内及び道外から迎えました。生徒総数111名での新年度のスタートに当たり、校長として、「実現したい未来のために」を学校経営スローガンに掲げ、持続可能な社会の創り手の育成のため、地域と連携・協働を図り、「おと高」の特色化・魅力化をさらに進めることを学校の経営方針としました。今後、生徒達が生きていく社会は、先行き不透明で予測困難な時代となり、グローバル化や情報化の加速度的な進展に伴い社会情勢は大きく変化することが予想され、将来を担う子供たちの可能性を引き出す教育の推進が強く求められています。

本校生徒には人格の形成や、幅広い知識と教養の修得等により、社会の大きな変化に適応し、一人一人が新たな時代を生き抜いていくために、目の前の状況から解決しなければならない課題を見つけ、自分で考え、様々な立場の人が議論しながら満足いく解決策を見出す資質や能力が必要です。その力を身に付けさせるために必要な学びへの取組を、保護者及び地域の皆様とともに進めて参りたいと考えております。

今年で73年目を迎える「おと高」。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが来月8日には変更され、様々な教育活動が再開されます。今後も地域の期待に応え、本校が持続的に発展することができるよう、皆様方には変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

●新たに4名の教職員を迎え、 新年度スタート

今年度、新たに4名の教職員を迎え、「おと高」の教育活動がスタートしました。

これまでの経験を生かし、チーム「おと高」の一員として魅力あふれる学校づくりを進めていきたいと意気込んでいる3名の教職員を紹介します。

教頭 加瀬谷 嘉延

4月の異動で留萌管内の天塩高校から参りました。私は教員としての最初の赴任地が稚内市、次いで名寄市、旭川市と、道北地区を国道40号線に沿って巡ってまいりましたので、この学校に赴任が決まった際は全く違和感をいただくことはありませんでした。



名寄高校在任中は音威子府村から通う生徒さんもいましたが、今はその保護者様が本校生のお世話をしてくださっていて、強い御縁を感じながらお仕事をさせていただいています。

工芸科である本校は、校内の至る所に卒業生・在校生の作品が展示されています。それらを鑑賞していると、静かなたたずまの作品を通して生徒さんの熱い気持ちを垣間見ることがで

きるようで、「自分の仕事は結果を出しているか? 生徒さんに貢献できているか?」を強く意識させてもらえました。どうぞよろしくお願いいたします。

教諭 濱村 ゆきの

4月より稚内高校から着任いたしました。専門教科は美術、今年で教員生活9年目になります。おといねっぴ美術工芸高等学校は、他校と違って美術・工芸の先生方が複数人いらっしゃるの、非常に新鮮な気持ちです。水彩・油彩・陶芸・シルクスクリーンなど色々な事をしてきましたが、木工芸はほとんどはじめてですので、他の先生方からも色々教えていただきながら、専門を活かせるように頑張っていきたいと思えます。



また、芸術・工芸を志す生徒が集まる学校ですので、非常に前向きに授業に取り組む生徒が多いことをこの数週間ですでに実感し、うれしく感じています。生徒たちのやる気に応えられるよう、精一杯取り組んでいきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

教諭 河上 賢一

この度、日本海側にある羽幌高校から赴任しました。他校にはない特色を持つ学校で生徒たちと生活していけることを大変光栄に思います。教科は英語を担当します。英語は今の時代だから必要!という訳ではありません。はるか昔から外国語は新たな文化をもたらし、暮らしの豊かさや価値観の発展につながってきました。それは時代を問わず、子どもたちの成長にも同じことが言えると信じています。私自身も含め、授業を通じて人生の可能性を広げてまいります。また、部活動はバドミントン・アルペンスキーといずれも初挑戦です。何事も楽しむことを忘れずに元気に頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



●おと高 Story

《着任式・始業式》

生徒たちは年度末・年度始休業中に大きな事故や怪我もなく帰寮してくれました。10日に着任式と始業式が行われました。体育館で始業式が行われるのは実に3年ぶりとなります。



《入学式》

保護者の皆様の御出席のもと、令和5年4月11日に第40回入学式が挙行されました。真新しい制服に身をつつみ、緊張した面持ちで入場する40名の新生。呼名後、校長先生から入学を許可されると、親元を離れ、音威子府村で生活する事への期待に胸をふくらませるとともに、「おと高生」としての誓いを新たにしました。



子ども相談支援センター相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなどを相談してください。

●電話相談 ☎ 0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来庁相談 子ども相談支援センター
 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話番号で予約してください。
 (10~18時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)